

消化酵素剤

— 日本薬局方 —

パンクレアチン

Pancreatin

パンクレアチン「三恵」

500g

製造番号

使用期限

※製造販売元



株式会社 三恵薬品

愛知県豊橋市入船町21番地

※2005年10月改訂
(第2版、薬事法改正に伴う改訂)
2000年9月改訂

日本標準商品分類番号	872331
承認番号等	(60AM)2792
薬価収載	1966年7月
販売開始	1966年7月
再評価結果	1983年4月

貯 法：吸湿注意

気密容器に入れ30℃以下で保存

使用期限：ラベルに表示の期限内に使用すること

【禁 忌】(次の患者には投与しないこと)

1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者。
2. ウシ又はブタたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者。
[ウシ又はブタの脾臓由来の消化酵素であるため]

【組成・性状】

1. 組成

本剤1g中、日局パンクレアチン1gを含む。

2. 製剤の性状

本剤は白色～淡黄色の粉末で、特異なにおいがある。

【効能・効果】

消化異常症状の改善

【用法・用量】

パンクレアチンとして、通常成人1回1gを1日3回食後に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	くしゃみ、流涙、皮膚発赤等

注) このような症状があらわれた場合には、
投与を中止すること。

2. 適用上の注意

服用時

(1) 投与に際しては、直ちに飲み下すように注意すること。
[小児が誤って本剤を大量に停滞させたため、口内炎及び口腔内潰瘍を起こしたとの報告がある。]

(2) 投与に際しては、粉末を吸入しないように注意すること。
[本剤の吸入により気管支痙攣、鼻炎を起こしたとの報告がある。]

3. 取扱い上の注意

配合変化：酸性又は強アルカリ性により失活する。

GSI-RSS



(01)14987344161211

JAN



4 987344 161214